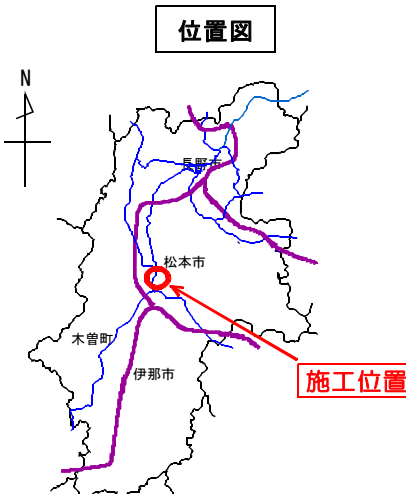
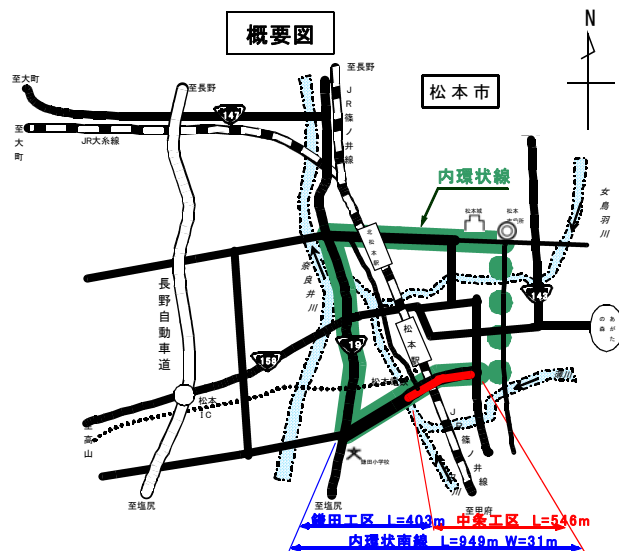


## 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課  
担当課長名：赤星 健太郎

<b>事業名</b> 都市計画道路 内環状南線 <small>うちかんじょうみなみせん</small>	<b>事業区分</b> 街路	<b>事業主体</b> 長野県
<b>起終点</b> 自：長野県松本市 井川城 <small>ながのけんまつもとし いがわじょう</small> 至：長野県松本市 本庄 <small>ながのけんまつもとし ほんじょう</small>		<b>延長</b> 0.55km
<b>事業概要</b> 当該路線は、松本都市圏総合交通計画により松本市中心市街地の内環状道路に位置付けられており、当該区間は国道19号と松本市街地を結ぶ内環状南線の一部を受け持っている。 沿道にはオフィスビル、ホテル、マンションなどが立地し、高度な土地利用がなされている。交通渋滞は恒常的に発生しており、歩道未設置区間も多く、歩行者は危険にさらされている。本事業により車道の4車線化及び歩道の整備により、円滑で安全な都市交通を確保する。		
H11年度事業化	H9年度都市計画決定	H12年度用地着手
<b>全体事業費</b> 37億円		<b>事業進捗率</b> 46%
<b>計画交通量</b> 26,800台/日		<b>供用済延長</b> 0km
<b>費用対効果分析結果</b> B/C (事業全体) 2.2 (残事業) 3.9	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 19.6 / 35 億円 (事業費 : 19.3/34.6億円) (維持管理費 : 0.30/ 0.30億円)	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 77 / 77 億円 (走行時間短縮便益 : 79.1/79.1億円) (走行経費減少便益 : -0.60/-0.60億円) (交通事故減少便益 : -1.8/-1.8億円)
<b>基準年</b> 平成20年		
<b>感度分析の結果</b> ・交通量、事業費等の変動を想定しても、費用便益分析の結果に問題なし。		
<b>事業の効果等</b> ・市街地交通の円滑モビリティの確保(整備無しの場合に対して渋滞損失時間 23.01万人・時間/年を削減) ・災害への備え(老朽橋：中条跨線橋の架け替え) 他8項目に該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 当該道路は松本都市計画区域マスタープランにも位置付けあり。 松本市第4次道路整備5箇年計画に位置づけあり。また、地元地区からの整備要望がある。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 内環状線の構成路線である「内環状北線」の一部がH14に完了。「内環状南線」鎌田工区はH15着手。松本駅東西自由通路、西口駅広場はH20整備完了。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ・用地については事業対象費用の77%が用地買収完了。 ・工事については事業費の3%が完了。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 今後とも、引き続き事業を推進し平成27年度の供用を目指す。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 工事にあたっては、コストの縮減に努めながら事業を推進する。		
<b>対応方針</b> 対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
<b>事業概要図</b> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>位置図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>概要図</p> </div> </div>		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。